

て4カ所の未利用国有地についても早期に産業団地整備を実現することを要望している。

市では、平成19年度に産業団地適地調査を実施し、地勢条件や交通・イン

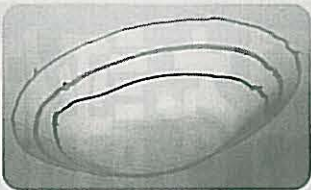
東広 早期に産業団地整備を

の産業団地開発候補地を選定。市の都市計画マスタープランを策定し、一定の条件を満たす場合に産業団地の企業用地がほぼ分譲済みの中で、新規企業立地の受け皿として企業用地を確保するた

タフガードQ-R工法

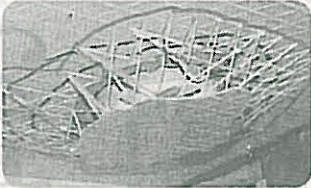
「塗るだけ」ではく落防止

工程短縮で最大30%コスト減



塗膜の破断は認められない

タフガードQ-R



塗膜の破断は認められる(連続シートで落下防止) いずれも30mm変位状況

繊維シート工法(エポキシ)

日本ペイント販売が開発した、塗るだけでコンクリート片の剥落を防止できる剥落防止システム『タフガードQ-R』

ことや、複雑な形状の箇所や狭小部での施工が

止める繊維シート工法が主流だが、工程が多いために工期が長くなること、

同工法は平成19年にNETIS登録(KR-040054-V)され、東京・大阪・名古屋などの大都市圏の橋梁補修工事を中心に23年度が担当している。

R工法』が、その優れた施工性・工期短縮効果や昨今のコンクリート構造物補修に対する社会的ニーズの高まりなどから注目を集めている。塩害・中性化・ASRや酸性雨などでコンクリート構造物が劣化し、コンクリート片等が剥落・落下する事故は全国各地で発生しており、対策工法としては連続繊維シートを有機樹脂で包含・積層し、落下を防止する繊維シート工法が主流だが、工程が多いために工期が長くなること、複雑な形状の箇所や狭小部での施工が

検討委で方向性議論

市民病院の病棟耐震化など

笠岡市

【福山】笠岡市は、市民病院(笠岡5628-1)の耐震化を含めた今後の経営ビジョンについて、今年度中に基本計画をまとめる予定にしている。病棟等の耐震化については、市が秋にも設置を予定する「病院あり方検討委員会」で議論される見通し。市民などを交える委員会では、自治体病院としての適正規模や医療機能などを検証したうえで、今後の病院運



現在の笠岡市立市民病院

は、随意契約で自治

条バイパス北側で、開発予定面積を約20ha、分譲予定面積を約7haとする。総事業費は約21億円で、平成28年度をメドに整備する。24年度では、6250万円を予算化し、

所は、福富地区(開発面積21.6ha、分譲面積12.5ha)、入野地区(26.5ha、13.0ha)、元兼地区(34.4ha、17.3ha)、大仙地区(23.1ha、未確定)。

同小は、市が広島県から取得した旧大和高校の跡地等を活用し、大和地区の5小学校(神田、神田東、和木、大草、楳梨)を統合。新設プールは、グラウンド南側に建設する。

51億8000万円を

社会福祉施設等

厚生労働省は、平成24年度社会福祉施設等施設整備費補助金を内示(一般会計分)した。

今回の内示分は、障害者関係施設合計255カ所(共同生活介護・援助184カ所、多機能型16カ所、就労継続支援B型15カ所、生活介護12カ所ほか)、51億8299万7000円。都道府県計34億9178万7000円、指定都市計6億7039万6000円、中核市計10億2081万3000円。中国地区関連分の内示額は次の通り。

▽鳥取県 5件、7311万円